

通崎睦美 講演会 & トークゲスト 加藤種男 1935をめぐって 木琴演奏会

2015.11.28(土) 14:00開演(13:30開場)
埼玉県立近代美術館 2階講堂 入場無料

14:00-14:30 加藤種男さんのお話
14:40-16:10 通崎睦美さん講演会+木琴演奏会

演奏曲

ファン・エイク／「笛の楽園」より
ピットフィールド／ソナタ～木琴独奏のための
高橋悠治／飼いなされたアマリリス
寺嶋睦也／アマリリス変奏曲
ピアソラ／「タンゴ・エチュード」より

16:10-16:30 お二人でまとめのお話と参加者との質疑応答

京都在住の木琴・マリンバ奏者通崎睦美さんは、アンティーク着物のコレクターとしても知られています。これまで、骨董市などで手に入れた大正から昭和初期のきものを、実際に着ることで現代に魅せてきました。

また演奏活動に加え、文筆の分野でも活躍。昨年「木琴の巨匠・平岡養一の評伝『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』で、第24回吉田秀和賞、第36回サントリー学芸賞をダブル受賞されています。

「通崎睦美講演会&演奏会～1935をめぐって」では、1935年アメリカ製の木琴演奏を交えながら、古い着物を通して見えてくる生活や文化のありようをお話いただきます。

トークゲストは、企業メセナの推進者としてもご活躍の加藤種男さん。加藤さんは、アサヒビールの文化事業を長く支え、通崎睦美さんとも20年近くにわたり、さまざまな活動を協働してきました。

お互いを知るお二人の間で、どんなトークが展開されるか合わせてお楽しみください。

申込方法

定員120名 往復はがきで申込 10/31(土)必着
1枚につき2名様まで可(氏名等を併記)

定員をこえた場合は抽選 11/10(火)ころまでに回答
往信面の裏に「11/28通崎睦美講演会」・住所・氏名・連絡先
電話番号を記入、返信面の表に住所氏名を記入

問合せ先・申込先

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
埼玉県立近代美術館内 あなたとどこでもアート実行委員会
Tel. 048-824-0110 e-mail:SMF.info@artplatform.jp



写真:中川忠明

通崎睦美

1967年京都市生まれ。マリンバ奏者として活動する一方、2005年、木琴の巨匠平岡養一氏の楽器と約500点にのぼる楽譜やマレットを譲り受けたことをきっかけに、演奏・執筆活動を通して木琴の復権に力を注いでいる。

2000年頃よりアンティーク着物のコレクション・着こなしが注目され、2004年から2005年にかけて、アサヒビール大山崎山荘美術館、他各所にて、着物から現代美術までの多彩な「好み」を集めた「通崎睦美選展～通崎好み」が開催された。

CDに「スパイト踊子」「1935」「届くことのない12通の手紙」「M×PIAZZOLLA」「MUTSUMI～Songs from Asia」。

著書に『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』(第24回吉田秀和賞、第36回サントリー学芸賞受賞)『通崎好み』『ソデカガミ～銘仙着物コレクション』『天使突抜一丁目』『天使突抜367』。

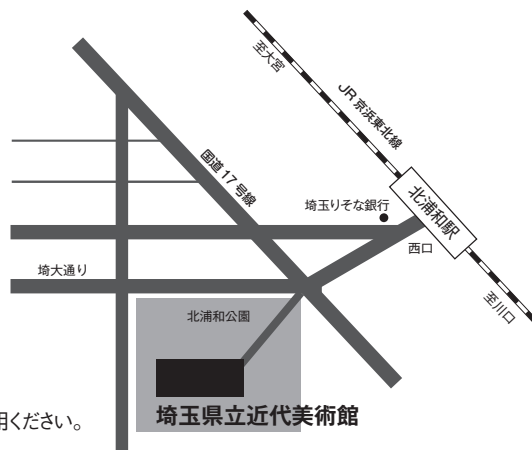
加藤種男 公益社団法人企業メセナ協議会専務理事

1990年～2013年 アサヒビールと財団でメセナを中心に社会貢献を担当。アサヒ・アートフェスティバル、ロビーコンサート、アサヒビール大山崎山荘美術館等の立上にかかわる。あわせて、企業メセナ協議会の研究部会長として、2009年に「ニュー・コンパクト」を取りまとめるなど、積極的に文化政策を提言。2012年より現職。2020オリンピック・パラリンピックに向けた企業メセナの取り組み「創造列島」を企画し展開中。また、NPOの環境整備に取り組み、アートNPOフォーラムを立ち上げに参画し、アートNPOリンク理事、日本NPOセンター評議員などを務める。2004年～2010年 横浜市芸術文化振興財団専務理事として「文化芸術創造都市・横浜」を推進。あわせて、大佛次郎記念館館長などを歴任。その他の主な現職は、さいたまリエンナーレ総合アドバイザー、沖縄県文化振興会アドバイザー、おおさか創造千島財団理事、アーツカウンシル東京カウンシルボード議長など。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

通崎睦美さんには、埼玉出身の画家、須田剋太に、こどもの頃10年にわたって毎年描かれた肖像画コレクションがあり、埼玉の美術に縁が深くあります。

展示作品

銘仙着物コレクション(約10点)
須田剋太「通崎睦美像」(1973)右写真
小磯良平「通崎睦美像」(1975)他



JR京浜東北線「北浦和駅」西口徒歩3分。*東京方面からは「大宮」行をご利用ください。